

第192回理事会が開催されました。

12月3日（火）に第192回理事会が静岡市内のクーポール会館において開催されました。主な議題は、報告事項として中央情勢や事業状況について、審議事項として令和1年度の予算執行状況・決算見込み、令和2年度の保健事業や保険料率について検討されました。

健保組合を取り巻く環境は依然として厳しい状況であり、保険料収入の伸び悩みや平成20年度から始まった高齢者医療制度への支援金・納付金等の過重な負担から全国の健保組合の3割超が赤字決算となっています。当健保組合の財政状況は、前年度より医療費、支援金・納付金とも増加傾向にあり厳しい状況となっていますが、今後とも加入員の皆様の健康保持・増進を図るため精一杯努力をしていく所存ですので、何卒ご協力のほどよろしく願いいたします。

医療費の節約にご協力をお願いします。

皆様には保険料を有効に活用していただくため、必ず、年度に一回は健康診断を受け、生活習慣病の早期発見・早期治療につとめていただくようお願いいたします。

また、保険診療のルールを守っていただき、新薬と同じ成分・効果で薬代の節約ができるジェネリック医薬品を積極的に利用するなど医療費の節約にご理解・ご協力をお願いいたします。

花粉症対策2020 春の花粉飛散予測

東海地方は例年・前年と比べ少ない飛散に 花粉症は早めの対策を

いよいよ花粉症のシーズンがやって来ます。2月以降から徐々に花粉飛散量が増えていきますので早めの対策をとりましょう。毎年花粉症で悩む方は、スギ花粉が飛散する1～2週間前から対策しておくのがおすすめです。症状が出る前に薬の服用を開始する「初期療養」は、症状が出てから薬を服用する「導入療法」に比べ症状が出る時期を遅らせたり、症状を軽くすることができます。花粉を近づけない、花粉に近づかない行動が花粉症シーズン対策の基本です。体調管理も花粉症への抵抗力をアップさせるため有効です。今年も早めの対策で準備を万全にしておきましょう。

花粉症の薬にもジェネリック医薬品を

ジェネリック医薬品には花粉症に効く薬もあります。花粉症の場合、薬を使用する期間は年間でも数か月におよびます。家族のうち数人が花粉症の薬を服用している場合は薬代もかさみます。医療費の負担を減らすためにもジェネリック医薬品に切替え薬代を節約しましょう！

インフルエンザ予防接種の補助を行っています。

健保組合ではインフルエンザの発症予防を図るため、10月から翌年3月までに予防接種を受けた被保険者及び被扶養者の方を対象に一人につき千円の補助を行っています。この機会にインフルエンザ予防接種を受けましょう！詳しくは「インフルエンザ予防接種補助実施要領」又はホームページをご覧ください。

扶養者資格の再確認にご協力をお願いします。

この調査は、被扶養者の適正な認定や保険給付及び健保組合の財政に大きな影響を受ける高齢者医療制度への納付金・支援金支出の適正化を図るための重要な調査です。未提出の場合は大至急提出をお願いします。

組合運営サポート事業「禁煙サポート事業 卒煙プログラム」について

このプログラムは通院や診察ではなく遠隔・オンラインでの禁煙プログラムとなります。専用の禁煙支援アプリを使用して効果的に禁煙をサポートします。1回あたりの指導時間も30～40分で6ヶ月の長期対応で心理的依存の克服や、中断や脱落が多くなる4～6ヶ月頃もケアします。申込期間は10月1日から翌年2月28日となります。参加費は無料ですので、禁煙を希望する方は、ぜひ、この機会にご参加下さい。詳しくは健保組合までお問合わせいただくかホームページをご覧ください。